

中学 1 年 国語科 教材別テスト④

「詩の世界」 / 漢字・詩の表現技法・語句・詩の鑑賞

1 年 組 番 氏名 _____

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」(P. 1～P. 3)までです。
- 大問四は、教科書『国語 1』(光村図書)の「詩の世界」のページを開いて解答しなさい。そこに収められている詩の中から、自分で一つ選んで答える問題です。
- 大問四では、選んだ詩の題名を必ず書きなさい。題名が書かれていないものは採点できません。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能 (50点)

一

次の——線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、送りがなが必要な場合は、必ず書くこと。

1点×20＝20点

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ① 詩を <u>朗読</u> する。 | ② 美しい <u>余韻</u> が残る。 |
| ③ 心に <u>響く</u> 言葉。 | ④ 情景を <u>描く</u> 。 |
| ⑤ <u>比喩</u> を用いる。 | ⑥ 名画を <u>鑑賞</u> する。 |
| ⑦ 同じ言葉を <u>繰り返す</u> 。 | ⑧ 和歌を <u>詠む</u> 。 |
| ⑨ <u>躍動</u> する生命。 | ⑩ <u>清涼</u> な空気。 |
| ⑪ 夕暮れの <u>こうけい</u> 。 | ⑫ 強い <u>いんしょう</u> を受ける。 |
| ⑬ <u>よはく</u> を生かす。 | ⑭ <u>そうぞう</u> をふくらませる。 |
| ⑮ 豊かな <u>はっそう</u> 。 | ⑯ <u>ちんもく</u> が続く。 |
| ⑰ 山里の <u>ふうけい</u> 。 | ⑰ <u>すぐれたかんかく</u> 。 |
| ⑱ 森の <u>せいじゃく</u> 。 | ⑳ 胸の <u>こどう</u> 。 |

二

詩に用いられる表現技法について、次の説明にあてはまる言葉を答えなさい。

2点×8=16点

((1)～(7)は技法の名前、(8)は用語を答えること。)

- (1) 人ではないものを、人であるかのように表す技法。
- (2) 「～ようだ」「～みたいだ」などの言葉を使って、あるものを別のものにたとえる技法。
- (3) 「～ようだ」などの言葉を使わずに、あるものを別のものにたとえる技法。
- (4) 同じ言葉や似た言葉を、何度も用いて強調する技法。
- (5) ふつうの語順を入れかえて、あとに来るはずの言葉を前に出す技法。
- (6) 行や文の終わりを、名詞で言い終える技法。
- (7) 似た組み立ての二つの句を並べて、調子を整えたり意味を強めたりする技法。
- (8) 現代の話し言葉で書かれ、音数や行数に決まりのない詩のことを何というか。漢字五字で書きなさい。

三

次の問いに答えなさい。

2点×7=14点

- (1) 「感心」と同じ読み方で、「ある物事に興味をもつこと」という意味の熟語を、漢字で書きなさい。
- (2) 「詠」の部首名を、ひらがなで書きなさい。
- (3) 「響」の部首名を、ひらがなで書きなさい。
- (4) 「胸を打つ」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 強く心を動かされること。 イ はげしく怒ること。
ウ 大きな決心をすること。 エ 苦しくて息ができなくなること。
- (5) 「一期一会」の読み方を、ひらがなで書きなさい。
- (6) 「具体」の対義語を、漢字二字で書きなさい。
- (7) 「日没」と熟語の組み立てが同じものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 国立 イ 読書 ウ 高低 エ 岩石

思考・判断・表現 (50点)

四 教科書「詩の世界」に収められている詩の中から一つを選び、後の問いに答えなさい。

50点

※ どの詩を選んでもかまいませんが、すべての問いを同じ一つの詩について答えること。

(1) あなたが選んだ詩の題名と作者名を書きなさい。 4点

(2) その詩は、全体で何連から成り立っているか。連に分かれていない場合は「一連」と答えなさい。 2点

(3) その詩に用いられている比喻(たとえ)の表現を、一か所そのまま書き抜きなさい。また、「何を何にとえているか」を書きなさい。

(比喻が使われていない詩を選んだ場合は、代わりに表現の工夫が見られる部分を一か所書き抜き、その工夫の名前を書きなさい。) 8点

(4) その詩の中で、作者が特に工夫していると思われる表現を一か所書き抜き、その表現がどのような効果をあげているかを説明しなさい。 8点

(5) その詩で、作者が最も強く伝えようとしていることは何か。二十五字以上四十字以内で書きなさい。 10点

(6) その詩を読んで、あなたが感じたことや考えたことを、詩中の言葉や表現にふれながら、六十字以上八十字以内で書きなさい。 10点

(7) その詩を声に出して読むとき、あなたはどのような読み方をしたいか。工夫を一つあげ、そうした理由もあわせて書きなさい。 8点

解答用紙① 知識・技能

中学 1 年 国語科 教材別テスト④「詩の世界」

1 年 組 番 氏名 _____

知識・技能 小計

一 漢字 (1点×20)	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
	⑰		⑱	
	⑲		⑳	
二 詩の表現技法 (2点×8)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	
三 語句・漢字の知識 (2点×7)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

解答用紙② 思考・判断・表現

中学 1 年 国語科 教材別テスト④「詩の世界」

1 年	組	番	氏名	
-----	---	---	----	--

思考・判断・表現
小計

合計 (100点満点)

四 (1) (2)	題名		作者	
	(2)	連		

四 (3) 比喻など (8 点)	書き 抜き			
	説明	() を にたとえている。 / 技法名		

四 (4) 工夫した表現 (8 点)	書き 抜き			
	効果			

四 (5) (10点)	
--------------------------	--

四 (6) (10点)	
--------------------------	--

四 (7) (8 点)	
----------------------------	--

※ 記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。(5) は25～40字、(6) は60～80字です。

